

株式会社 JR大分シティ



贈呈理由

大分の玄関口であるJR大分駅に隣接する複合商業施設で高効率熱源機と水蓄熱システムを採用



JRおおいたシティ

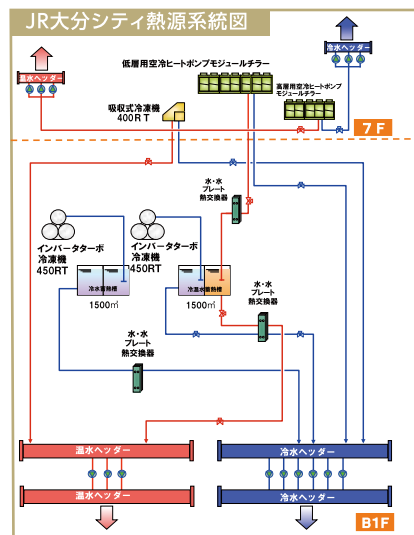
JR大分駅は大分市を代表する駅であり、2011年には開業100周年を迎え「豊かさを感じる駅へ」をコンセプトに、15年にJRおおいたシティは誕生した。「心ゆたかなライフスタイルを創造・提案し大分都心部の賑わいづくり魅力的なまちづくりに貢献する」を理念とし、シンボルロゴにも「大分が大きくひろく、人がつながり想いがつながる・大分の地に根ざし未来へはばたく姿勢」をあらわしている。城門をモチーフとした府内中央口をはじめとし、商業施設「アミュプラザおおいた」、ホテル「JR九州ホテルブラスサム大分」、天然温泉施設「シティスパてんくう」と一日中いても飽きない幅広いニーズに応じる充実した設備、何度訪れても楽しめるアミューズメントパークのような駅ビルになっている。

蓄熱槽を活用しピーク電力の抑制を

空調システムは「高効率および経済性を重視したシステム」と「運用を含めた確実なメンテナンス」を重視して高効率熱源機と水蓄熱システムを採用した。

高効率空気熱源ヒートポンプチャラー、インバーターボ冷凍機、縦型水蓄熱

槽、ガス焚吸収式冷温水機などで構成され、これらの多様な技術の組み合わせで高効率および経済性を重視したシステムとなっている。7階に高層用、地下1階に低層用と系統を2系統化することにより、運転・制御の簡素化によるシステムの安定性・信頼性の向上を生んでいる。



蓄熱槽の利用により、昼間ピーク時間帯の電力を362kW(9%)削減でき、電力負荷の平準化に寄与できた。

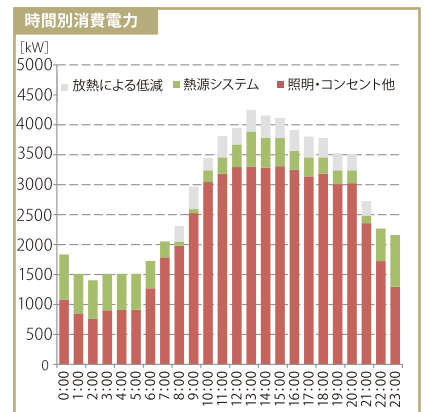
今後も、蓄熱槽の熱量を適切に運用管理し、省エネルギー・省コストとなる改善を行い、電力負荷の平準化および、ピーク電力の抑制に貢献していきたい。



タワー冷凍機



空気熱源ヒートポンプチャラー



JR大分シティ

所在地:大分県大分市要町1-14
 建築設計:(株)日本設計
 建築施工:(株)大林組
 蓄熱設備設計:(株)九電工
 蓄熱設備施工:(株)九電工
 延床面積:約 107,000㎡
 竣工:2015年(新設)

蓄熱設備概要

- 水蓄熱式空調システム
- 熱源機:インバーターボ冷凍機1582.3kW×1台
- 蓄熱槽:1500㎡(冷水槽)
- 熱源機:インバーターボ冷凍機1582.3kW×1台
- 空気熱源ヒートポンプチャラー 180kW×7台
- 蓄熱槽:1500㎡(冷温水槽)
- 〔三菱重工業〕
- 非蓄熱式空調システム
- 熱源機:空気熱源ヒートポンプチャラー 180kW×5台〔三菱重工業〕
- 非蓄熱式空調システム ガス焚吸収式冷温水機 1406kW×1台〔パナソニック〕